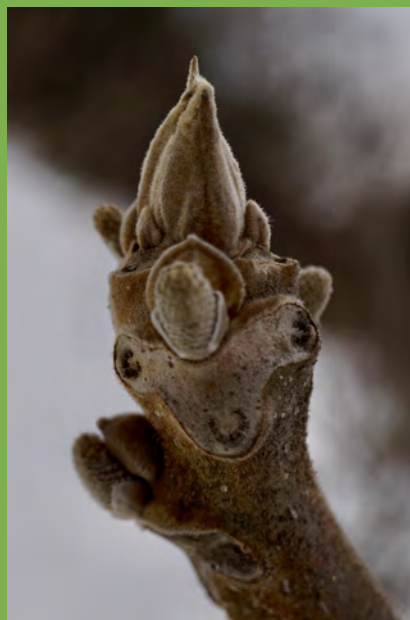


森のようちえん

Minamihara Yonezawa Yamagata



<里山森のようちえん研究会>

Skovbørnehave

里山の森の背景と私たちのアクション

かつて直江兼続公が菜園としたと言い伝えられる屋敷森で、「森のようちえん」の時間と空間の提供
里山の森を荒れた獣の住処にするのではなく、自主開拓整備し開放するとそこは子どもたちの感性の育つ場所へ。
子どもたちが、自ら感じ、考え、伝える「子どもたちの今、目の前にある時間」見守る環境を整えています。

2020,2021,2022 3年間の感じる効果 専門家の皆さんにたくさん助けられました

- 1、子どもたちの「森」への関心、感性、興味の高まり（植物、虫、動物、木の実、季節）
- 2、「自然保育」「木育」への関心の高まり（保護者 教育、保育者 県外からの訪問者）
- 3、近所の方、山や森を持つ方の意識の変化（自分の森へ案内してくれる方が増えた）

みどり環境税のおかげで印刷物を作り幼稚園や県内各地へ配布することでの広がり効果に感謝

